

# 平成27年度香川県水産審議会 議事録

1 日 時 平成28年3月24日(木) 14:00~14:50

2 場 所 アイパル香川3階 大会議室(第5・6会議室)

3 出席者 服部委員、大平委員、濱本委員、小川委員、森高委員、多田委員、持田委員、  
山本(啓)委員、松本委員、青井委員、池田委員

条例第7条第2項の規定により、本委員会が有効に成立。

## 4 議題

条例第7条第3項の規定により、会長の服部委員が議長となり、議事を進行。

### (1) 協議事項

香川県水産業基本計画の進捗状況について

委員：次期計画での漁協の合併の目標について、どのように考えているのか。

事務局：漁業者の自主的な合併について支援していきたいと考えている。

### (2) 報告事項

#### 1) 次期香川県水産業基本計画について

本計画については、県の2月議会において可決され、この計画に基づいて水産業の振興を図っていく旨、また4月以降早々に印刷物にして配布するよう考えている旨事務局より説明があった。

#### 2) 専門部会の開催状況について

##### ① 山本(啓)委員が栽培・養殖・流通部会の概要について報告。

平成27年度種苗生産結果及び平成28年度種苗生産等計画(案)並びに平成28年度魚類養殖にかかる対応策(案)について承認された。また、委員から漁獲量の増加しているハモについて意見交換がなされ、ハモ食を普及していくことを検討すべき等の意見があった。

##### ② 濱本委員が漁港・漁場整備部会の概要について報告。

漁港整備事業の平成28年度の実施計画及び平成28年度漁場整備事業の計画と使用礁(案)について承認された。また、委員から漁場整備の予算が少なくなる中、工事に関して、効果的に事業を実施すること、モニタリング調査の結果を公表すること、休止する塩飽地区の整備について早期の再開に努めるよう意見が出された。

両部会について、委員から質問等、特になし。

#### 3) 平成28年度水産関係予算について

事務局が平成28年度水産関係予算について説明。退職者により人件費が減っている旨説明があった。

委員：全体の予算が伸びていないのに、これだけ多くの新規事業があるということは、何かやめたものがあるのか。

事務局：限られた予算であるため、優先順位により整理をした。信用漁業協同組合との事業統合に係る受託金等については廃止した。

委員：ノリの異物除去機について、昔やったものの更新になるのか。また、買い付け業者の要望の水準が上がっているということか。

事務局：当時より機械の機能がかなりアップしており、業者の要望に対応できる機械を入れ直すものである。

委員：ノリの異物混入のクレームは大変多いが、この機械を入れて本当にクレームがなくなるのか疑問がある。機械の調節は生産者自身が行うため、仕上がりにどうしてもばらつきが出てくる。県が補助するので、調節機能の部分については、封印するくらいのものでよいのではないか。県が指導を行って、これを導入すれば異物がなく、クレームがつかないというところまでもって行って欲しい。

委員：機械の単価が安くなれば、導入台数を増やすのか。

事務局：その予定である。

委員：3年間で全ての経営体へ新しい機械が導入されるということか。

事務局：現在約半分は既に導入されており、この事業でほぼ全経営体へ導入される見込みである。

委員：オリーブ葉について、粉末製造機が不足していたため確保できていなかったということか。

事務局：その点がネックになっている業者もあり、新たなルートからも提供を受けようというものである。

委員：この製造機の導入した場合、今使われているものと同じような品質のものができるのか。

事務局：品質は同等である。残留農薬のチェックをした上で利用したいと考えている。

議長：ほかに意見等なければ、この件について、委員から出された意見を参考にしながら、対年度の事業を進めていただきたい。

### (3) その他

議長：その他について、事務局から何かあるか。

事務局：特にございません。

議長：そのほか委員の皆さまから何かあるか。

議長：特になければ、閉会としたい。